



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月13日

上場会社名 株式会社ヤシマキザイ 上場取引所 東  
コード番号 7677 URL <https://www.yashima-co.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 高田 一昭  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 阿部 昌宏 (TEL) 03-4218-0096  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	25,250	23.3	460	—	594	—	444	—
2025年3月期第3四半期	20,485	△0.3	△192	—	△189	—	△127	—

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 831百万円(—%) 2025年3月期第3四半期 4百万円(△98.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	154.94	—
2025年3月期第3四半期	△44.42	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	25,473	10,133	39.8
2025年3月期	25,394	9,364	36.9

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 10,133百万円 2025年3月期 9,364百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2026年3月期	—	0.00	—		
2026年3月期(予想)				25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	33,844	16.5	378	—	538	—	374	130.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2026年3月期3Q	2,880,000株	2025年3月期	2,880,000株
2026年3月期3Q	6,865株	2025年3月期	10,596株
2026年3月期3Q	2,871,269株	2025年3月期3Q	2,866,999株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無  
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(四半期連結損益計算書関係) .....	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結会計期間におけるわが国経済は、物価高の影響を受けつつも雇用・所得環境の改善により個人消費が底堅さを見せており、企業収益や設備投資意欲の改善もあって景気は緩やかな回復基調を維持しておりますが、海外の地政学的な緊張状態の継続、日中関係の悪化、中国経済の失速や米国の関税引き上げとそれに伴う貿易摩擦等による下振れリスクが存在しており、依然として先行きは不透明な状況にあります。また、当社グループの主要顧客である鉄道事業者においては、国内旅行やインバウンド等の移動需要の回復により、業績は増収増益を示し、回復基調で推移しました。

そのような状況のもと当社グループは、2024年度から2026年度の3ヶ年中期経営計画を策定しております。前々連結会計年度を最終年度とする前中期経営計画において道半ばに終わった目標を引き継ぎ、この中期経営計画においても(1)安定成長軌道への回帰、(2)新たな企業価値の創出、(3)2027年3月期ROE5%超、の3つを基本目標に掲げ、当社グループの事業環境を踏まえて対処すべき課題等に取り組んでまいります。

当第3四半期連結会計期間の連結業績は、国内において主要顧客である鉄道事業者の業績回復を受けた旺盛な需要が下支えとなり、また一部顧客の製造スケジュールや修繕計画等に遅れや前倒しが生じた影響により、前期や第4四半期および来期以降に想定していた納品等が当第3四半期連結会計期間に集中したことを受け、売上高は25,250百万円（前年同四半期比23.3%増）、営業利益は460百万円（前年同四半期は192百万円の損失）、経常利益は594百万円（前年同四半期は189百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は444百万円（前年同四半期は127百万円の損失）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### (鉄道事業)

鉄道車両製品を主な商材として、鉄道事業者及び鉄道関連メーカー等を対象に、鉄道車両用電気用品、同車体用品等を主に取り扱っております。主要顧客である鉄道事業者の業績が増収増益となり、設備投資意欲の回復等を受けて受注環境が好転したことや、一部顧客の製造スケジュールや修繕計画等の変化による影響もあって、売上高は堅調に推移しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は23,500百万円（前年同四半期比26.0%増）、営業利益は525百万円（前年同四半期は108百万円の損失）となりました。

#### (一般事業)

当社グループにおいては鉄道事業以外を一般事業としております。取引を行っている業界は、産業機器メーカーや電力用機器メーカー、自動車業界メーカー等と多岐にわたっており、主な商材はコネクタや電子部品であります。産業機器メーカー等で在庫調整局面の影響が緩やかな改善を見せた一方で、原子力発電所の再稼働延期等を受けた電力用機器メーカーの需要低迷等がブレーキとなり、全体として売上高は低調に推移しました。

その結果、売上高は1,749百万円（前年同四半期比4.6%減）、営業損失は65百万円（前年同四半期は83百万円の損失）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産の残高は25,473百万円で、前連結会計年度末に比べ78百万円増加しております。主な要因は、投資有価証券（2,128百万円から4,028百万円へ1,900百万円増）、現金及び預金（9,571百万円から10,198百万円へ627百万円増）が増加した一方、有価証券（2,000百万円から1,000百万円へ1,000百万円減）、受取手形、売掛金及び契約資産（5,847百万円から4,985百万円へ862百万円減）、営業未収入金（808百万円から326百万円へ482百万円減）、電子記録債権（1,114百万円から871百万円へ243百万円減）が減少したことによるものであります。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は15,339百万円で、前連結会計年度末に比べ690百万円減少しております。主な要因は、電子記録債務（1,007百万円から1,635百万円へ627百万円増）、契約負債（487百万円から759百

万円へ271百万円増)が増加した一方、支払手形及び買掛金(10,978百万円から9,757百万円へ1,220百万円減)、営業未払金(1,116百万円から385百万円へ730百万円減)、賞与引当金(246百万円から131百万円へ114百万円減)が減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は10,133百万円で、前連結会計年度末に比べ769百万円増加しております。主な要因は利益剰余金(7,441百万円から7,814百万円へ373百万円増)、その他有価証券評価差額金(652百万円から1,095百万円へ442百万円増)が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期第3四半期決算の実績等を踏まえ、2025年5月15日に公表いたしました2026年3月期の通期連結業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日(2026年2月13日)公表の「2026年3月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,571,185	10,198,582
受取手形、売掛金及び契約資産	5,847,651	4,985,488
営業未収入金	808,773	326,025
電子記録債権	1,114,926	871,691
有価証券	2,000,000	1,000,000
棚卸資産	1,702,136	1,677,082
未収入金	140,918	180,443
その他	734,084	995,547
貸倒引当金	△122,853	△153,631
流動資産合計	21,796,823	20,081,229
固定資産		
有形固定資産	33,250	41,350
無形固定資産	53,932	39,735
投資その他の資産		
投資有価証券	2,128,210	4,028,984
繰延税金資産	202,059	22,025
長期未収入金	333,172	250,481
その他	1,282,869	1,344,311
貸倒引当金	△435,950	△335,052
投資その他の資産合計	3,510,361	5,310,749
固定資産合計	3,597,544	5,391,836
資産合計	25,394,367	25,473,066

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,978,021	9,757,795
営業未払金	1,116,004	385,836
電子記録債務	1,007,604	1,635,378
未払法人税等	18,688	123,363
契約負債	487,753	759,353
リース債務	8,126	7,799
賞与引当金	246,051	131,910
受注損失引当金	362,331	370,196
その他	214,493	461,814
流動負債合計	14,439,074	13,633,448
固定負債		
繰延税金負債	171,390	238,115
退職給付に係る負債	826,512	875,041
役員退職慰労引当金	138,412	138,412
債務保証損失引当金	385,000	382,800
資産除去債務	40,868	41,092
リース債務	8,921	9,607
その他	20,122	21,098
固定負債合計	1,591,227	1,706,168
負債合計	16,030,301	15,339,616
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	99,900	99,900
資本剰余金	755,479	763,988
利益剰余金	7,441,080	7,814,217
自己株式	△2,228	△1,444
株主資本合計	8,294,230	8,676,662
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	652,746	1,095,246
為替換算調整勘定	417,088	361,539
その他の包括利益累計額合計	1,069,834	1,456,786
純資産合計	9,364,065	10,133,449
負債純資産合計	25,394,367	25,473,066

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	20,485,170	25,250,048
売上原価	17,967,186	21,897,149
売上総利益	2,517,984	3,352,898
販売費及び一般管理費	2,710,579	2,892,860
営業利益又は営業損失(△)	△192,595	460,037
営業外収益		
受取利息	6,355	11,770
受取配当金	41,463	50,158
為替差益	3,443	—
賃貸料収入	42,732	44,919
受取出向料	50,708	34,631
債務保証損失引当金戻入益	—	※3 2,200
その他	15,800	18,473
営業外収益合計	160,503	162,153
営業外費用		
支払利息	18	18
賃貸原価	9,638	8,127
為替差損	—	18,919
持分法による投資損失	※1 47,056	—
貸倒引当金繰入額	※1 99,985	—
その他	743	603
営業外費用合計	157,442	27,668
経常利益又は経常損失(△)	△189,534	594,522
特別利益		
貸倒引当金戻入額	※2 46,200	※2 54,351
特別利益合計	46,200	54,351
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△143,334	648,873
法人税、住民税及び事業税	9,440	200,045
法人税等調整額	△25,430	3,955
法人税等合計	△15,989	204,001
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△127,345	444,872
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△127,345	444,872



## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△127,345	444,872
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	95,469	442,500
為替換算調整勘定	36,444	△55,548
その他の包括利益合計	131,913	386,951
四半期包括利益	4,568	831,824
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,568	831,824

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※1. 貸倒引当金繰入額、持分法による投資損失

前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

当第3四半期連結累計期間において、持分法適用会社であるQuatro Yashima Private Limited(以下、QYPL社)の借入金に対する債務保証の履行額として95,044千円を支出いたしました。これを受けて、当第3四半期連結累計期間において、履行額と同額のQYPL社に対する未収入金を計上しております。当該未収入金について回収可能性を見積もった結果、貸倒引当金繰入額102,585千円を営業外費用に計上することといたしました。また、当社のQYPL社に対する債務保証の残額である46,285千円を含めた47,056千円を持分法による投資損失として営業外費用に計上しております。なお、当第3四半期連結累計期間における貸倒引当金繰入額については、他債権により生じた貸倒引当金戻入額2,600千円を相殺した数値を記載しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

該当事項はありません。

※2. 貸倒引当金繰入額、貸倒引当金戻入額

前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

中国の連結子会社である亜西瑪(上海)貿易有限公司(以下、「ヤシマ上海」)における2023年3月期の不正調査の過程において、仕入先と得意先が実質的に一体である取引が判明し、取引の実在性に疑義のある取引を識別しました。しかし、得意先の協力が十分得られず、取引の実在性を十分に確認することができませんでした。そのため、当社は当該取引を不適切な取引であると認識し、売上取引を取り消すとともに、ヤシマ上海における仕入先と得意先とは2023年6月に取引を停止しました。

当該商流におけるヤシマ上海の2023年6月までの支払額から入金額を控除した金額を正味支出額とし、回収可能性が確実と認められる金額以外については貸倒引当金を計上しておりました。

得意先に対しては、債権回収期限の猶予を与え資金繰り負担を軽減することにより事業の継続を支援し、正味支出額の全額回収を目指すこととしました。

その結果、期中レビュー報告書日までの正味回収額46,200千円を特別利益の貸倒引当金戻入額として計上しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

中国の連結子会社である亜西瑪(上海)貿易有限公司(以下、「ヤシマ上海」)における2023年3月期の不正調査の過程において、仕入先と得意先が実質的に一体である取引が判明し、取引の実在性に疑義のある取引を識別しました。しかし、得意先の協力が十分得られず、取引の実在性を十分に確認することができませんでした。そのため、当社は当該取引を不適切な取引であると認識し、売上取引を取り消すとともに、ヤシマ上海における仕入先と得意先とは2023年6月に取引を停止しました。

当該商流におけるヤシマ上海の2023年6月までの支払額から入金額を控除した金額を正味支出額とし、回収可能性が確実と認められる金額以外については貸倒引当金を計上しておりました。

なお、得意先に対しては、債権回収期限の猶予により資金繰り負担を軽減することにより事業の継続を支援し、未収金の全額回収を目指すこととしました。

その結果、当第3四半期決算短信提出日までの正味回収額54,351千円を特別利益の貸倒引当金戻入額として計上しております。

## ※3. 債務保証損失引当金戻入益

前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

当社におけるインド市場でのパートナー企業であるRENMAKCH INDIA PRIVATE LIMITED (以下、レンマック社) に対し、インド地下鉄向け案件等、今後のODA案件参画に向けた実績となる案件を受注し手掛ける際に、当社はスタンバイLCを発行してその資金調達を支援しております。なお、2025年12月末日時点でレンマック社に対するスタンバイLC発行による債務保証額は220百万インドルピーとなっております。

2025年3月期において、レンマック社の業況等を鑑み、2025年3月期末日における債務保証額220百万インドルピーに相当する円価額385百万円を債務保証損失引当金繰入額として計上しております。2025年12月末日時点においては、インドルピー建ての債務保証額に増減はありませんが、当社使用レートの洗替による債務保証損失引当金戻入益2,200千円を計上しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	29,104千円	29,675千円

(注) 負ののれんの償却費は金額的重要性がないため、記載を省略しております。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	鉄道事業	一般事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,650,943	1,834,226	20,485,170	—	20,485,170
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	18,650,943	1,834,226	20,485,170	—	20,485,170
セグメント損失(△)	△108,839	△83,755	△192,595	—	△192,595

(注) セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	鉄道事業	一般事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	23,500,923	1,749,124	25,250,048	—	25,250,048
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	23,500,923	1,749,124	25,250,048	—	25,250,048
セグメント利益又は損失(△)	525,620	△65,582	460,037	—	460,037

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。